

参考1

令和7年2月12日
文教経済常任委員協議会
浪岡振興部地域づくり振興課

令和6年度

青森市第三セクター経営状況基本情報シート

法人名称	株式会社アップルヒル
------	------------

市所管部課	浪岡振興部地域づくり振興課
-------	---------------

I 法人の概要

法人名	株式会社アップルヒル		法人分類	会社法法人
代表者職氏名	代表取締役社長 佐藤 文一	設立年月日	平成 8 年 4 月 1 日	
所在地	〒 038-1331	電話番号	0172-62-1170	
	青森県青森市浪岡大字女鹿沢字野尻2番地3	FAX番号	0172-62-1171	
		HPアドレス	http://www.applehill.co.jp	
市所管部課	浪岡振興部地域づくり振興課	電話番号	0172-62-1127	
出資等の状況	基本財産・資本金等		出資等額	出資等割合
			40,000 千円	100.0 %
	うち本市の出資等額		30,000 千円	75.0 %
	市以外の 主な出資者	青森農業協同組合	10,000 千円	25.0 %
			千円	%
			千円	%
		千円	%	
設立の背景	株式会社アップルヒルは、旧浪岡町において、地域特産品の普及及び販売による農業振興、地域振興並びに地元住民の雇用の場として建設された、「産地形成促進施設アップルヒル」を民間のノウハウを活用して効率的に経営するとともに、地域情報の発信などの公益的事業を実施するため、第三セクターの形態で設立された。			
設立目的	産地形成のための地場産品の販売や、地域農業産品を活かした新商品の開発及び普及、並びに地域振興に資するイベント等に関する事業を行い、地域における農業振興及び地域振興の向上に寄与することを目的とする。			
事業内容	1. 農産物・畜産物・水産物及びきのこ類の生産及び販売 2. 農産物・畜産物・水産物の保存食品の企画開発及び販売 3. 地域産業に関する商品の企画、立案、販売及び斡旋 4. 生鮮食料品、加工食品及び加工調理食品並びに冷凍食品の販売 5. レストラン並びに喫茶店の経営 6. 菓子、玩具及び民芸品並びに工芸品の製造販売 7. 飲料水及び酒類並びにタバコの販売 8. 書籍、雑誌及び地図の販売 9. 公の施設の管理運営 10. 前各号に付帯する一切の業務			

【参考】 指定管理業務 の状況	指定管理期間（直近）	5 年間 （令和 2 年度 ～ 令和 6 年度）		
	指定管理している施設名	アップルヒル		
	利用料金制の導入状況	☐ 完全利用料金制 ☐ 一部利用料金制 ☒ 利用料金制なし		

② 職員の状況（各年度の4月1日現在）

区 分	職員数の推移					
	令和3年度 (人)	令和4年度 (人)	令和5年度 (人)	令和6年度 (人)	平均年齢 (歳)	平均年収 (千円)
常勤管理職職員 計	13	12	16	16		
法人採用正職員 A	13	12	16	16	48.0	3,212
市派遣職員						
市職員OB						
その他						
常勤一般職職員 計	15	14	10	8		
法人採用正職員 B	15	14	10	8	46.0	2,055
市派遣職員						
市職員OB						
その他						
常勤職員 合計	28	26	26	24	47.0	2,826
非常勤職員数						
職員総数（常勤＋非常勤）	28	26	26	24	47.0	2,826
【参考】臨時職員数				5		

（補足）：臨時職員は「パートタイム職員」を指す。

Ⅲ マネジメントの状況

① 経営戦略プラン等の状況

経営戦略プラン等の策定状況	■ 策定済み（策定月日：令和5年3月、計画期間：令和5年度～令和7年度）
	□ 策定着手済み（令和 年度予定）
	□ 策定に向け検討中（令和 年度予定）
	□ 策定予定なし（理由： ）

② 経営戦略方針等

1. 経営基盤の強化 2. 効果的・効率的な事業活動 3. 「りんご」を核とした事業展開 4. 情報発信力の強化 5. 関係団体との連携と公益的事業の強化

③ 具体的な取組目標

活動指標の内容（主なもの）				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
アップルヒル来場者数	単位	千人	計画	2,071	1,910	1,967	2,016	－
			実績	1,834	1,951			
物販売上高	単位	千円	計画	315,923	290,890	299,617	307,107	－
			実績	281,184	306,766			
レストラン売上高	単位	千円	計画	46,821	32,914	33,901	34,749	－
			実績	31,885	39,774			
道草庵売上高	単位	千円	計画	40,623	38,530	39,686	40,678	－
			実績	37,261	45,279			
県内外催事売上高 （物販売上高内数）	単位	千円	計画	19,273	17,744	18,277	18,734	－
			実績	10,296	10,890			
経営目標の内容（主なもの）				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
営業収益（売上高）	単位	千円	計画	439,550	393,768	405,296	415,428	－
			実績	380,195	423,260			
販売・一般管理費	単位	千円	計画	187,092	170,118	174,936	179,309	－
			実績	163,851	175,924			
人件費（雑給含む） （販売・一般管理費内数）	単位	千円	計画	113,965	101,599	104,411	106,825	－
			実績	102,354	106,667			
当期純利益	単位	千円	計画	7,611	7,216	7,327	7,500	－
			実績	9,201	11,227			
	単位		計画					
			実績					

（注）①経営改善計画・経営戦略プランを策定している場合には、計画に盛り込まれている目標等を記載すること。
②経営改善計画・経営戦略プランを策定していない法人（策定予定含む）で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載すること。
③毎年度の目標等を設定していない場合は、実績のみ記載すること。

④ 職員制度の状況

定員管理計画 (人員計画)の 状況	策 定 状 況	内 容		
	☒ 策定済み (令和 元 年度) ☐ 策定中 (策定予定: 令和 年度) ☐ 策定予定なし	1. 策定の趣旨 2. 指標とこれまでの実績 3. 計画期間 4. 目標 5. 目標達成に向けた取組		
人材育成計画の 状況	策 定 状 況	内 容		
	☒ 策定済み (平成 24 年度) ☐ 策定中 (策定予定: 令和 年度) ☐ 策定予定なし	1. 基本方針策定趣旨 2. 人材育成の基本的考え方 3. 求められる社員の姿 4. 社員に期待される役割・能力 5. 人材育成の推進		
研修の実施状況 (主なもの)	研 修 名		受講者数 (人)	
			令和3年度	令和4年度
	食品衛生関係研修		25	24
	防災・防犯・AED等危機管理関係研修		35	112
	接遇研修		0	0
	観光案内所関係研修		1	0
人事評価制度の 状況	制 度 名	内 容		
	社員業績評価制度	社員個人の能力や意欲などに関する評価10項目及び重点的に取り組む接遇に関する3項目について自己評価、管理者評価、最終評価と偏りを防ぐため複数者による人事評価を毎年1回行っており、社員の昇任や賞与額の決定に当たっては、人事評価結果を反映している。		
	社員自己申告制度	現在の担当業務への考えや異動希望その他各業務に関する意見、提言等を申し出ることができる自己申告を毎年1回行っており、申告内容も踏まえて人事異動を実施している。		
常勤職員の 給与体系	給与体系の状況	内 容		
	☒ 法人独自の給与体系 ☐ 市の給与体系を全部準用 ☐ 市の給与体系を一部準用 ☐ その他	他の民間企業の給与体系を参考にし、社員の職位を7段階に区分し、給与は職位に応じた7等級の給料表を作成している。各等級は、1号俸から30号俸までで構成され、原則として社員は1年経過で1号俸昇給する。 また、6月、12月の年2回、会社の業績並びに社員の在籍期間及び勤務成績を勘案し賞与を支給している。		
常勤職員 給与体系の 見直し予定	見直し予定の有無	備 考		
	☒ 有 (令和 6 年度予定) ☐ 無 ☐ その他	最低賃金額の改定に伴い、給与規程の改定を予定している。		

⑤ 計算書類等の適正化への対応

対 応 項 目	対応の有無	有の場合は、依頼している職種等
経理事務精通者による監事への就任	☐ 有 ・ ☒ 無	
経理事務精通者による経理指導・相談体制の状況	☒ 有 ・ ☐ 無	税理士
外部監査制度の導入状況	☒ 有 ・ ☐ 無	税理士

⑥ 経営情報等の情報公開の状況

情報公開に関する規程等の有無		☒ 有（名称：株式会社アップルヒル情報公開規程） ・ ☐ 無 公開方法（複数選択可） ☐ 非公開 ☒ 窓口等に備え付け ☒ HP掲載							
項 目	開示請求対象	一般閲覧（自主開示）の方法			項 目	開示請求対象	一般閲覧（自主開示）の方法		
		事務所 備え付け	市所管課 備え付け	HP掲載			事務所 備え付け	市所管課 備え付け	HP掲載
定款	☐	☐	☐	☐	役員数	☐	☐	☐	☐
役員名簿	☐	☐	☐	☐	役員平均年齢	☐	☐	☐	×
事業報告	☐	☐	☐	☐	役員平均年収	☐	☐	☐	×
貸借対照表	☐	☐	☐	☐	職員数	☐	☐	☐	☐
損益計算書	☐	☐	☐	☐	職員平均年齢	☐	☐	☐	☐
株主資本等変動計算書	☐	☐	☐	☐	職員平均年収	☐	☐	☐	☐
個別注記表	☐	☐	☐	☐					
（会計）監査報告	☐	☐	☐	☐					

※開示請求対象・・・「○：全部公開」、「△：一部公開」、「×：全部非公開」

※一般閲覧（自主開示）の方法・・・「○：対応済み」、「×：非対応」

⑦ その他各種規程等の有無、公開方法

規 程	規程の有無	公開方法（複数選択可）		
個人情報保護に関する規程	☒ 有 ・ ☐ 無	☐ 非公開	☒ 窓口等に備え付け	☒ HP掲載
資金の管理運用に関する規程	☒ 有 ・ ☐ 無	☐ 非公開	☒ 窓口等に備え付け	☐ HP掲載
役員の報酬・退職金に関する規程	☒ 有 ・ ☐ 無	☐ 非公開	☒ 窓口等に備え付け	☐ HP掲載
役員の在任年齢に関する規程	☐ 有 ・ ☒ 無	☐ 非公開	☐ 窓口等に備え付け	☐ HP掲載

Ⅳ 財務の状況

※財務諸表に関する情報

会計年度	適用会計基準	消費税等の会計処理
始期 4月1日～翌年3月31日	☒ 中小企業の会計に関する指針 ☐ その他（ ）	☐ 税込方式 ☒ 税抜方式

① 経営成績の概要【損益計算書】

(単位：千円・千円未満四捨五入)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常損益の部	営業収益（売上高）（A）	308,944	380,195	423,260
	うち本市からの指定管理料	4,912	3,800	4,201
	うち本市の指定管理業務に係る利用料金	0	0	0
	うち本市からの受託料	0	0	0
	営業費用（B）	322,039	375,859	415,955
	売上原価	170,515	212,008	240,031
	販売費及び一般管理費	151,524	163,851	175,924
	うち役職員人件費	94,102	98,117	100,720
	うち減価償却費	3,940	3,279	2,691
	営業利益（損失）（C）=（A）-（B）	▲ 13,095	4,337	7,305
	営業外収益（D）	12,488	3,554	3,026
	うち受取利息	1	2	2
	営業外費用（E）	114	134	151
	うち支払利息	104	104	104
	営業外利益（損失）（F）=（D）-（E）	12,374	3,420	2,875
経常利益（損失）（G）=（C）+（F）		▲ 721	7,757	10,180
特別損益の部	特別利益（H）	4,000	5,333	5,421
	特別損失（I）	550	550	550
	特別利益（損失）（J）=（H）-（I）	3,450	4,783	4,871
税引前当期利益（損失）（K）=（G）+（J）		2,729	12,540	15,051
法人税・住民税及び事業税（L）		1,437	3,339	3,825
法人税等調整額（M）		0	0	0
当期純利益（損失）（N）=（K）-（L）+（M）		1,293	9,201	11,227

※項目ごとにそれぞれ四捨五入しているので、集計額が一致しない場合がある。

② 財政状態の概要【貸借対照表】

(単位：千円・千円未満四捨五入)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部	流動資産	130,245	150,995	163,113
	固定資産	21,167	17,783	16,520
	うち土地	0	0	0
	うち建物	14,009	12,146	10,463
	うち退職給付等引当資産	0	0	0
	資産 合計	151,411	168,778	179,632
負債の部	流動負債	33,403	41,018	41,695
	うち短期借入金	0	0	0
	うち本市からの借入金	0	0	0
	固定負債	3,514	4,064	4,614
	うち長期借入金	0	0	0
	うち本市からの借入金	0	0	0
	うち退職給付等引当金	3,514	4,064	4,614
	負債 合計	36,917	45,082	46,310
純資産の部	資本金	40,000	40,000	40,000
	資本剰余金	0	0	0
	うち資本準備金	0	0	0
	利益剰余金	74,495	83,696	93,323
	うち繰越利益剰余金	73,935	83,136	92,603
	自己株式	0	0	0
	株主資本合計	114,495	123,696	133,323
	評価・換算差額等	0	0	0
	新株予約権	0	0	0
	純資産 合計	114,495	123,696	133,323
負債及び純資産 合計		151,411	168,778	179,632

※項目ごとにそれぞれ四捨五入しているので、集計額が一致しない場合がある。

V 本市の財政的関与等の状況

(単位：千円・千円未満四捨五入)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目的、内容、必要性、増減理由等
補助金	0	0	0	
事業費補助金	0	0	0	
管理費補助金	0	0	0	
交付金	0	0	0	
負担金	0	0	0	
委託料	0	0	0	
(委託料合計額のうち競争によらないもの)				
(委託料合計額のうち再委託額)				
指定管理料	12,486	14,449	14,227	
指定管理業務における支出	12,486	14,449	14,227	指定管理業務における経費は、指定管理料及び法人の営業利益から支出している。
合計額（税抜）				
うち指定管理料支出額	4,912	3,800	4,201	
(指定管理料合計額のうち競争によらないもの)				
(指定管理料合計額のうち再委託額)	3,923	3,800	4,201	
貸付金（当期借入額）	0	0	0	
短期貸付金	0	0	0	
長期貸付金	0	0	0	
出資金（追加額）				
合 計	12,486	14,449	14,227	

※項目ごとにそれぞれ四捨五入しているので、集計額が一致しない場合がある。

	有・無	令和2年度	令和3年度	令和4年度	内容、補足等
貸付金の状況 （年度末残高）	☐ 有 ・ ☒ 無				
損失補償の状況 （年度末残高）	☐ 有 ・ ☒ 無				【限度額】
債務保証の状況 （年度末残高）	☐ 有 ・ ☒ 無				【限度額】

<その他の財政援助（税や施設使用料の減免、建物の無償貸与等）>

Ⅵ 経営状況に関する指標

① 健全性の視点

(単位：％・小数点1桁未満四捨五入)

指標	算出方法	令和3年度	令和4年度	令和5年度
当期損益 【単位：千円】	<損益計算書> 当期純利益（損失）	1,293	9,201	11,227
累積損益 【単位：千円】	<貸借対照表> 利益剰余金	74,495	83,696	93,323
経常比率	(営業収益＋営業外収益)／(営業費用＋営業外費用)×100	99.8	102.1	102.4
自己資本比率	純資産合計／資産合計×100	75.6	73.3	74.2
流動比率	流動資産／流動負債×100	389.9	368.1	391.2
固定比率	固定資産／純資産合計×100	18.5	14.4	12.4
借入金割合	(短期借入金＋長期借入金)／資産合計×100	0.0	0.0	0.0

② 自立性の視点

(単位：％・小数点1桁未満四捨五入)

指標	算出方法	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市からの収入（競争によらないもの）割合	本市からの収入（補助金＋交付金＋負担金＋委託料（競争によらないもの）＋指定管理料（競争によらないもの））／経常収益×100	0.0	0.0	0.0
資産に対する市からの借入金割合	本市からの貸付金残高／資産合計×100	0.0	0.0	0.0
受託事業の再委託率	再委託額／（本市からの委託料＋指定管理料）×100	31.4	26.3	29.5

③ 効率性の視点

(単位：％・小数点1桁未満四捨五入)

指標	算出方法	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高総利益率	(営業収益－売上原価)／営業収益×100	44.8	44.2	43.3
売上高営業利益率	営業利益（損失）／営業収益×100	▲ 4.2	1.1	1.7
売上高経常利益率	経常利益（損失）／営業収益×100	▲ 0.2	2.0	2.4
自己資本純利益率	当期純利益（損失）／純資産合計×100	1.1	7.4	8.4
販売費・一般管理費比率	販売費及び一般管理費／営業収益×100	49.0	43.1	41.6
人件費比率	役職員人件費／(営業費用＋営業外費用)×100	29.2	26.1	24.2
職員1人当たりの収益高【単位：千円】	営業収益／職員総数（常勤＋非常勤）	11,034	14,623	16,279

Ⅶ 令和5年度の主要事業の実績

事業名		決算額(千円)	事業内容				
物販（お土産コーナー）事業		306,766	浪岡地区の特産品であるりんごやスイーツを中心とした自社加工品など多種多様な商品を、県内外からの観光客に提供している。				
事業区分	受託事業	達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付者	—	売上高	単位	目標又は計画値	311,254	315,923	290,890
公益・収益	収益事業		千円	実績値	226,316	281,184	306,766

事業名		決算額(千円)	事業内容				
レストラン事業		39,774	県内外から訪れる観光客や休息を目的に訪れる方々に、地場産の食材を活用した料理や快適な休息環境を提供している。				
事業区分	受託事業	達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付者	—	売上高	単位	目標又は計画値	46,129	46,821	32,914
公益・収益	収益事業		千円	実績値	19,991	31,885	39,774

事業名		決算額(千円)	事業内容				
道草庵（そば処）事業		45,279	休息を目的に訪れる方々を中心に、レストランより安くて早い食事を提供するとともに、提供するメニューについても利用者のニーズに対応し健康志向の玄米（つがるロマン）そばを提供している。				
事業区分	自主(独自)事業	達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付者	—	売上高	単位	目標又は計画値	40,023	40,623	38,530
公益・収益	収益事業		千円	実績値	33,077	37,261	45,279

事業名		決算額(千円)	事業内容				
地域特産物の県内外催事販売・PR活動事業		10,890	りんごをはじめとする本市特産品の県内外での販売及びPR活動を継続的に実施している。				
事業区分	受託事業	達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付者	—	売上高	単位	目標又は計画値	18,988	19,273	19,562
公益・収益	収益事業		千円	実績値	12,177	10,296	10,890

事業名		決算額(千円)	事業内容				
りんごのブランド化事業		7,102	浪岡地区のりんごの付加価値を高めるために、「おぼこい林檎」「雪むろりんご」「雪見りんご」といったブランド化を図り販売活動を積極的に展開している。				
事業区分	受託事業	達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付者	—	売上高	単位	目標又は計画値	9,788	9,935	10,577
公益・収益	収益事業		千円	実績値	9,416	10,170	7,102

事 業 名		決算額(千円)	事 業 内 容				
観光りんご園 もぎとり体験事業		44	県内外からの観光客などを対象に、浪岡地区の特産品であるりんごに触れる機会（もぎ取り体験）を提供している。				
事 業 区 分	受託事業	達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交 付 者	－	売上高	単位	目標又は計画値	740	740	740
公益・収益	収益事業		千円	実績値	358	605	44

事 業 名		決算額(千円)	事 業 内 容				
校外学習受入れ事業		-	近郊の小中高校の校外学習の場として、観光りんご園において、りんごの実すぐり体験、もぎ取り体験を実施、また、りんごの授粉から収穫までの作業工程を説明するなど、りんごについて学習する機会を提供している。				
事 業 区 分	受託事業	達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交 付 者	-	校外学習受入れ人数	単位	目標又は計画値	1,100	1,100	1,100
公益・収益	公益事業		人	実績値	672	684	429

事 業 名		決算額(千円)	事 業 内 容				
中学校職場体験学習 受入れ事業		-	浪岡地区の子供たちの健全育成に資するため、浪岡中学校の職場体験の場として積極的に施設を活用し、就業意識の向上、将来の進路に向けて望ましい職業観・勤労観の養成に協力している。				
事 業 区 分	受託事業	達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交 付 者	—	職場体験受入れ人数	単位	目標又は計画値	8	8	8
公益・収益	公益事業		人	実績値	0	0	7

事業名		決算額(千円)	事業内容				
高等学校インターンシップ 受入れ事業		-	高校生の円滑な就業に資するため、社会体験させる場として積極的に施設を活用し、就業意識の向上や、将来の進路に向けて望ましい職業観・勤労観の養成に協力している。				
事業区分	受託事業	達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付者	-	インターンシップ 受入れ人数	単位	目標又は計画値	20	20	20
公益・収益	公益事業		人	実績値	0	3	1

事業名		決算額(千円)	事業内容				
事業区分		達成度を表す指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付者			単位	目標又は計画値			
公益・収益				実績値			